

射和祇園まつり

勇ましく元禄の雅を今に伝える

遊びに来てね！

祭りの概要

起源は、射和輕粉(けいふん)で成功した射和の豪商(富山家、竹川家、國分家等)が江戸、京都に進出したことで、祭りも京都の祇園祭を取り入れ、元禄時代から盛んになりました。

射和町は6町内(6組)に分かれ、各組ごとに大小の屋台(山車)を一基ずつ計12基持っています。伊佐和神社には、元禄時代の作と、明治時代に更新された2基の神輿があります。

※射和町 6組と 6町内名

かしいぐみ 香椎組 (上之町)、高砂組 (御蔵町)
みくりぐみ 三栗組 (中之町)、八雲組 (下之町)
そがぐみ 素鷺組 (裏町)、宮本組 (新出町)

開催日 令和5年7月15日(土)・16日(日)

場所 松阪市射和町一円



行事日程

宵宮15日(土)

各組の小屋台(6基)は午後1時に國分家前に集合し伊佐和神社まで巡行、参道に並びます。

午後2時ごろ神輿に御神移し終了後、小屋台は神社から各町内を巡行し大日堂に入ります。

神輿は町内を練り歩き(巡行)、御旅所(大日堂)に納められ神饌が供えられます。

夜は祇園囃子を奏でる提灯がゆれる大屋台(6基)が御旅所まで巡行し、神輿と小屋台と共に元禄時代から続く幻想的な世界へと誘います。

※伊佐和神社



本日16日(日)

小屋台と神輿は御旅所から朝9時頃に出発し各町内を巡行し、延命寺山門前に並びます。

神輿は「チョウサーサー」の掛け声で《縦ゆすり》、《横ゆすり》と観客の目を楽しませてくれます。

夜8時延命寺山門前から御神人を先頭に高張り提灯に包まれた神輿と、灯りを点した小屋台の勇壮な絵巻で祭りも最高潮に達し、観客を魅了せずにはいられません。

夜10時を過ぎると神輿を送った小屋台は各組へ帰り闇夜のなか神輿は還御(神社に帰る)します。

※御旅所(おたびしょ)→大日堂に設置されたテント張りの神輿の仮宿



※事故防止の為、ドローンの飛行・撮影は禁止します。

射和祇園まつりマップ

■交通のご案内

・公共交通機関利用

バス：松阪駅から約30分射和バス停下車。

・車

松阪から(R42号南下)約20分で射和町着。伊佐和神社下、射和町自治会駐車場、JAいざわ店の駐車場をご利用下さい。



祭6組の大屋台・小屋台の置き場所。



令和5年度 射和祇園まつり行事表

7月15日(土)

□午後1時・小屋台(6台)二番貝にて、各町内の小屋台⑯國分本宅前から伊佐和神社前まで。

順路記号 ⑯→⑯→⑩→⑦→⑪→②→① 伊佐和神社着 午後1時30分

□午後2時・小屋台、伊佐和神社から巡行し、大日堂(御旅所前)まで。

順路記号 ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑩→⑨→⑧→⑨→⑩→⑫→⑬

□午後2時 神輿神事・練り。屋台、神社下に到着次第神事、御神移し終了次第渡御、新出町・裏町を経て大日堂(御旅所前)に納める。

順路記号 ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑩→⑨→⑧→⑨→⑩→⑫→⑬

□午後7時・大屋台(6台)⑰本宗寺前から巡行し、大日堂(御旅所前)まで小屋台と向かい合わせに並べる。

午後10時ごろ大屋台だけ各組に帰る。(図で示した屋台の置き場所)

順路記号 ⑰→⑯→⑯→⑫→⑬

7月16日(日)

□午前9時・小屋台巡行 御神事終了後、一番貝で御旅所を出発、下之町蓮生寺前で折り返し、中之町を経て、國分新宅前

順路記号 ⑯→⑭→⑯→⑫→⑯

□ 國分本宅前を出発、御蔵町・上之町を経て、延命寺山門に至り休憩。

順路記号 ⑯→⑯→⑯→○→○→○→○→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯

□午後8時・小屋台巡行 延命寺山門前で神輿が上がると同時に、神輿の後について出発。池村商会前で小屋台解散。

各町(組)内に帰る 順路記号 ⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯ 解散

□午前9時 神輿神事・練り。神事終了後、一番貝で御旅所を出発、下之町蓮生寺前で折り返し、中之町を経て、國分本宅前で、昼食休憩。

順路記号 ⑯→⑭→⑯→⑫→⑯

□午後3時 神輿神事・練り。國分本宅前を出発、御蔵町・上之町を経て、延命寺山門に至り休憩。

順路記号 ⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯

□午後8時 神輿神事・練り。延命寺山門前を出発、御蔵町・裏町(観音さん休憩)を経て、高橋宅左折し中津宅前通り伊佐和神社に納める(遷御)午後10時頃

順路記号 ⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯→⑯